

公益社団法人 日本表面科学会
平成 29 年通常総会 議事録

1. 開催日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）14：30-14：55
開催場所：東京理科大学 1 号館 17 階 記念講堂
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3
2. 正会員の現在数： 社員数 1316 名
3. 出席者の人数 985 名： 出席者数 57 名、議決権行使書 928 名
4. 議事

開会時の司会を担当した中嶋健氏から、上記のような出席者数をもって正会員現在数の三分の二以上に達していることから、本通常総会が有効に成立していることが報告された。

(1) 議長・議事録署名人

定款第 17 条により総会の議長は会長の荻野俊郎氏がこれに当たる。

定款第 21 条による総会の「議事録署名人」について諮ったところ、議長のほか副会長の大門寛氏と庶務担当理事の中嶋健氏の 2 名が選出された。

(2) 事業報告書の承認に関する件

議長の指名により、庶務担当理事の中嶋健氏から平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の事業報告書の内容について説明された。第 1 号議案として、議長よりこれを諮ったところ、満場一致で承認された。

(3) 決算の承認に関する件

議長の指名により、会計担当理事の中村友二氏から平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の決算報告書の内容について説明された。また、監事の尾嶋正治氏から監査の実施について説明された。第 2 号議案として、議長よりこれを諮ったところ、満場一致で承認された。

(4) 栄誉会員について

栄誉会員（名誉会員 1 名、功労会員 2 名）候補 3 名について議長から提案され、第 3 号議案として、議長よりこれを諮ったところ、満場一致で承認された。

(5) 役員に関する件

第 4 号議案として、議長より平成 29 年度役員候補者について諮ったところ、白票 1 票を除く賛成を得て承認された。~~なお被選挙者は必ずしも席上その責任を承諾した。~~

(6) 第 5 号議案として、議長より一般社団法人日本真空学会との合併契約書について諮った。重要案件であるので、総会出席正会員数と議決権行使書提出正会員数を合わせたものを出席者とするとき、正会員現在数の三分の二以上の出席者による議決で過半数の賛成を要するとの議長の発言の後に採決され、白票・否各 1 票を除く賛成を得て承認された。

5. 報告

(1) 事業計画書に関する件

庶務担当理事の中嶋健氏より平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の事業計画書の内容が説明され、平成 29 年 2 月の理事会で承認された旨、報告された。

(2) 予算書に関する件

会計担当理事の中村友二氏より平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の正味財産増減計算書予算書の内容が説明され、平成 29 年 2 月の理事会で承認された旨、報告された。

以上、この議事録が正確であることを証するため議事録署名人が下記に署名する。

議

長

萩野俊郎



議事録署名人

大門 寛



議事録署名人

中山 健



公益社団法人 日本表面科学会
平成 29 年度会長・会長代理・副会長互選
理事会 議事録

日 時：平成 29 年 5 月 20 日（土）15：00-15：10
場 所：東京理科大学 1 号館 17 階 記念講堂
〒162-8601 新宿区神楽坂 1-3 Tel：03-3812-0266

理事数：20 名 出席者：20 名

出 席：板倉明子、大岩 烈、太田英二、木口 学、倉林 徹、河野禎市郎、粉川良平、
重川秀実、大門 寛、玉田 薫、富取正彦、中嶋 健、長谷川修司、福井賢一、
藤田大介、堀尾吉巳、松本卓也、渡邊 聡、
田澤豊彦（監事）、荻野俊郎（監事）、染野光宏（監事）
欠 席：赤木和人、吉信 淳、

議事

理事 20 名中、出席理事数が 18 名であり、定足数を満たしていることを確認した後、議事に入った。

1. 今回の理事会についての議事録署名人を代表理事と出席監事 3 名とした。
2. 定款第 23 条に基づき、理事の中から会長代理、副会長の選定を行うことを確認した。
3. 会長候補者を理事から募ったところ、大門寛理事が推薦された。審議の結果、大門寛理事を会長とすることを全会一致で決定した。
4. 副会長候補者を理事から募ったところ、任期中の大岩烈理事、堀尾吉巳理事、玉田薫理事の他に重川秀実理事、倉林徹理事が推薦された。審議の結果、上記 5 名を副会長とすることを全会一致で決定した。
5. 副会長 5 名のうち 1 名の会長代理候補者を募ったところ、重川秀実理事が推薦された。審議の結果、重川秀実理事を会長代理とすることを全会一致で決定した。

なお、被選任者は席上でその就任を承諾した。


代表理事

大門 寛 


代表理事

重川 秀実 

監 事

田澤 豊彦 

監 事

荻野 俊郎 

監 事

染野 光宏 

公益社団法人日本表面科学会 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)
平成29年 通常総会

目 次

議 案

1. 平成28年度事業報告書の承認に関する件
＜資料1-1、1-2、1-3＞
2. 平成28年度決算の承認に関する件
＜資料2-1、2-2＞
3. 栄誉会員の議決に関する件
＜資料3＞
4. 平成29年度役員を選任に関する件
＜資料4＞
5. 一般社団法人日本真空学会との合併契約書に関する件
＜資料5＞

報告事項

1. 平成29年度事業計画書に関する件
＜報告1＞
2. 平成29年度正味財産増減計算予算書に関する件
＜報告2＞

2017年 5月20日 (土)
東京理科大学 1号館17階 記念講堂

平成28年度事業報告書 (2016年4月～2017年3月)

1. 研究成果の討議・交流を目的とした学術講演会、研究会等の開催 (第1号事業)

1-1 通常総会

- 2016年5月21日、東京大学理学部化学本館、
社員数；1268名、出席者数；52名、議決権行使書；681名、
*特別講演会「サステナブルモビリティ実現のための表面科学」的場英紀氏 (トヨタ自動車)
*栄誉会員 (名誉会員、功労会員) の推薦
*学会賞、功績賞の表彰
*フェロー 認定
*講演奨励賞 (若手研究者部門、スチューデント部門) の表彰

1-2 第36回表面科学学術講演会 (2016年真空・表面科学合同講演会)

- 2016年11月29日～12月1日、名古屋国際会議場、参加人数；635名
*基調講演；2件、合同シンポジウム講演；23件、表面シンポジウム講演；5件、招待講演；8件
*一般講演；246件 (口頭；148件、ポスター；98件)
*受賞記念講演；8件 (学会賞・論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・産業賞)
*研究部会セッション；32件 (ソフトナノテクノロジー・電極表面科学・触媒表面科学・放射光表面科学・表面分析、摩擦の科学)
*講演奨励賞 (若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門) の選考
*論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・産業賞の表彰

1-3 研究会

- *第88回表面科学研究会 (日本真空学会、関東支部と合同研究会) 「光と表面：バイオセンシング・ガスセンシングへの応用」
2017年1月18日、機械振興会館、講演件数；5件、参加人数；30名
*第89回表面科学研究会 (平成27年度中部表面科学シンポジウム) 「将来の自動車に向けた表面科学」
2017年1月25日、名古屋工業大学、講演件数；4件、参加人数；38名

(関西支部主催)

- *第25回支部総会
2016年4月15日、大阪府立大学I-site なんば、76名 (議決権行使35名)
*関西支部特別講演会「金属微粒子2次元シートとそのバイオ応用」玉田薫 (九州大学教授)
2016年4月15日、大阪府立大学I-site なんば、講演件数；1件、参加人数；56名
*関西支部合同セミナー2016 (日本真空学会関西支部との合同開催) 「生分解性高分子の基礎と応用—近未来のすがた—」
2016年7月4日、京都大学桂キャンパス、講演件数；4件、参加者数；79名
*実用表面分析セミナー2016
2016年11月17日、神戸大学百年記念館、出展企業と団体；19社 (うち口頭発表+ポスター展示15社、ポスター展示のみ4社) と1大学 (ポスター展示)、参加者数；141名
*表面科学技術研究会2016 (表面技術協会関西支部との合同開催)
「高度なモノづくりを支える表面洗浄技術—洗浄とはなに？完全洗浄を目指して—」
2017年1月19日、島津製作所京都本社、講演件数；4件、参加人数；85名
*Symposium on Surface Science & Nanotechnology —25th Anniversary of SSSJ Kansai—
日本表面科学会関西支部創立25周年記念事業、
2017年1月24日～25日、京都市国際交流会館、講演件数；招待講演16件、口頭講演36件、一般ポスター講演113件、
参加人数；174名

(中部支部主催)

- *支部総会 (平成27年度)
2016年4月23日、名古屋大学
*中部支部講演会 (日本真空学会東海支部と合同)
2016年4月23日、名古屋大学、講演件数；3件、参加人数；24名
*第36回表面科学学術講演会表面科学シンポジウム「先端表面分析の最近の新天と産業応用」 (支部研究会代替)
2016年11月29日、名古屋国際会議場、講演件数；5件、参加人数；57名

* 第16回中部支部学術講演会「若手講演会」

2016年12月17日、名古屋大学、招待講演；1件、一般講演；19件、参加人数；47名
(講演奨励賞を設置し、学部・修士から3名、博士・ポスドクから1名を表彰)

* 平成28年度中部表面科学シンポジウム(第89回表面科学研究会を兼ねる)「将来の自動車に向けた表面科学」

2017年1月28日、名古屋工業大学、講演件数；4件、参加人数；38名

(関東支部)

* 支部総会

2016年4月9日、東京大学化学本館講堂

* 第1回関東支部臨講演大会

2016年4月9日、東京大学化学本館講堂、招待講演；4件、参加人数；77名

* 実用顕微評価技術セミナー2016(本部産業連携委員会と共催)

2016年6月17日、東京大学小柴ホール、特別講演；1件、講演件数；16件、参加人数；143名

* 第4回関東支部セミナー「走査型プローブ顕微鏡のフロンティア～実用材料表面計測入門から最新物性問題への挑戦まで」

2016年10月18日、東京大学化学本館講堂、講演件数；7名、参加人数；88名

* 第5回関東支部セミナー「表面・界面の水が拓くものづくりの未来」

2016年11月26日、東京大学化学本館講堂、講演件数；10名、参加人数；81名

* 第88回表面科学研究会、第6回関東支部セミナー(日本真空学会と合同開催)

「光と表面：バイオセンシング・ガスセンシングへの応用」

2017年1月18日、機械振興会館、講演件数；5件、参加人数；30名

(東北・北海道支部)

* 支部総会(平成28年)

2016年4月20日、東北大学・北海道大学(テレビ会議)、参加人数；49名(委任状；37名)

* XAFS夏の学校(共催)

2016年9月26日～28日、おたる自然の村おこばち山荘、参加者；30名

* 日本真空学会10月定例研究会(共催)「真空と水・表面と水：身近な物質の物理と化学」

2016年10月6日、北海道大学学術交流会館、参加者；15名

* 表面技術セミナー(共催)

2016年12月2日、岩手大学理工学部キャンパス内

* 平成29年東北地区若手研究者研究発表会(共催)

若手研究者を対象に「音・光・伝播・エネルギー・システムとその応用」に関する最新技術の紹介、情報交換を行う

2017年3月4日、東北学院大学多賀城キャンパス

* 支部臨講演大会

2017年3月9日～10日、秋田大学、参加人数；42名

(九州支部)

* 九州支部設立総会

2016年4月9日、九州八重洲博多ビル、総会出席者；31名、委任状；16名

* 九州支部特別講演会

2016年4月9日、九州八重洲博多ビル、講師2名(尾嶋正治先生、高原淳先生)、参加者；35名

* 日本表面科学会(ソフトナノテクノロジー部会・九州支部)主催セミナー

2016年5月31日、九州大学 伊都キャンパス、講師；Prof. Robert M. Corn

2016年6月8日にメール配信実施(支部HPより閲覧可能)

* 九州表面・真空研究会2016(応用物理学会九州支部、日本真空学会関西支部との合同開催)

2016年6月11日、場所；九州大学筑紫キャンパス、参加者；73名、

一般講演26件(うち学生講演奨励賞に応募22件、受賞7件)

1-4 国際事業

* 表面科学に関する国際シンポジウム(ISSS-8)準備

2017年10月22日～26日、つくば国際会議場

* 第2回ローラーメダル(Grand medal, Rising Medal)受賞者選考・決定(ISSS-8での表彰)

* 第2回国際フェロー選考(ISSS-8での表彰)準備

- *6 学会国際シンポジウム (5th International Joint Symposium (InJoSy-5), TVS, KVS, VSJ, SSSJ, AVS, CVS) への招待講演者の推薦・参加 (台湾, 2016年10月28日)
- *第22回真空国際会議 (IVC-22, 2022年) 招致活動により札幌で開催決定 (日本真空学会との協力)
- *PacSurf2016 (2016年12月11-15日, ハワイ) への若手招待講演者推薦, 推薦した若手講演者への旅費・参加費補助 (日本真空学会と合同で実施)
- *Symposium on Surface Science & Nanotechnology -25th Anniversary of SSSJ Kansai- (SSSN-Kansai) (関西支部主催 2017年1月24, 25日, 京都) への協力
- *海外在住会員向け情報誌の発行準備

1-5 研究部会

(ソフトナノテクノロジー研究部会)

- *学会誌での部会特集「ナノデザイン表面に基づく生体機能の再構築」(担当: 島内寿徳/玉田薫) 「表面科学」2016年5月号 P201-230
- *日本表面科学学会 (ソフトナノテクノロジー部会・九州支部) 主催セミナー 2016年5月31日, 九州大学 伊都キャンパス, 講師; Prof. Robert M. Corn 2016年6月8日にメール配信実施 (支部HPより閲覧可能)
- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「質量イメージングの最前線」(担当: 手老龍吾/松尾二郎) 2016年12月1日, 名古屋国際会議場, 依頼講演5件

(電極表面科学研究部会)

- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「プローブ顕微鏡を利用した電極表面科学の進展」 2016年11月29日, 名古屋国際会議場, 依頼講演4件, 一般講演8件
- *電極表面部会拡大幹事会 2016年11月29日, 名古屋国際会議場

(触媒表面科学研究部会)

- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「金属微粒子触媒の表面科学」 2016年11月30日, 名古屋国際会議場, 依頼講演4件, 一般講演5件
- *触媒表面ワークショップ (触媒学会界面分子変換研究会共催) 「放談会: 触媒研究の最前線と未来」 2017年3月3日, 東京大学, 依頼講演6件, 参加人数; 45名

(放射光表面科学研究部会)

- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「軟X線・VUV放射光が切り開く表面科学の新時代」 2016年11月30日, 名古屋国際会議場, 依頼講演7件
- *放射光表面科学研究部会およびSPRUC顕微ナノ材料科学研究会合同シンポジウム「高輝度放射光源による最先端表面科学の現状」 2017年3月2日~3日, 東京理科大学葛飾キャンパス, 講演数; 22件 (招待, 基調) ポスター; 15件 参加者; 57名

(表面分析研究部会)

- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「実用表面分析の最前線」 2016年11月29日, 名古屋国際会議場, 依頼講演6件, 一般講演3件, 参加人数; 50~60名

(摩擦の表面科学研究部会)

- *研究会1「ナノスケールフォノン輸送の物理と熱伝動制御」 2016年7月2日, 電気通信大学, 参加人数; 10名
- *UEC International Nanotribology Colloquium 2016年9月2日, 電気通信大学, 参加人数; 40名
- *第36回表面科学学術講演会 部会セッション「粘弾性と摩擦」 2016年11月30日, 名古屋国際会議場, 依頼講演6件,
- *電気通信大学にナノトライボロジー研究センターの設立, 記念講演会 2017年3月8日

(データ駆動表面科学研究会)

- *表面科学セミナー2017 (共催) 2017年2月9日~10日, 東京理科大学森戸記念館

(プローブ顕微鏡研究部会)

- *プローブ顕微鏡研究会「走査トンネル顕微鏡による物性研究の現状と展望」

2016年10月3日～4日、東京大学物性研究所、口頭発表24件、ポスター発表39件、参加者199名

2. 教育・育成を目的とした講習会、セミナー等の開催（第2号事業）

2-1 基礎講座

*第63回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

2016年6月27日～6月29日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス、講演件数；15件、参加人数；66名

*第7回社会人のための表面科学ベーシック講座

2016年9月28日～29日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス、講演件数；10件、参加人数30名

*第62回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

2016年10月18日～19日、場所；大阪大学豊中キャンパス、講演件数；11件、参加人数；38名

*第17回薄膜基礎講座

今年度は開講せず「表面科学セミナー2017」を実施

2-2 セミナー

*実用顕微評価技術セミナー2016（産業連携委員会・関東支部との合同企画）

2016年6月17日、場所；東京大学小柴ホール、講演件数；16件、参加人数；143名

*表面科学セミナー2017（データ駆動表面科学研究部会との合同企画）

「物質・材料開発の新潮流 -マテリアルズ・インフォマティクスの最前線-」

2017年2月9日～10日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス、講演件数；11件、参加人数；85名

2-3 市民講座

*中部支部市民講座「やさしい表面科学 昔のカメラ、未来のカメラ -表面科学で学ぶイメージング（撮像）技術-」

2016年7月30日、名古屋工業大学、講演件数；5件、参加人数；31名

*第2回関東支部市民講座「すごいぞ！身のまわりの表面科学～ツルツル、ピカピカ、ザラザラの不思議～」

2016年7月31日、東京大学小柴ホール、講演件数；3件、参加人数；56名

*第18回関西支部市民講座「自動車の中の表面科学」

2016年8月7日、大阪大学豊中キャンパス、講演件数；3件、参加人数；31名

*東北・北海道支部市民講座サイエンスカフェ

「カーボンナノチューブとグラフェンの世界によるこそ -最も薄い物質への挑戦-」

2017年1月21日、弘前大学文京町キャンパス、参加人数；46名

*九州支部市民講座（予定）「表面によって変化する物の性質 -表面を見る？・調べる？・活用する？-」

2017年3月4日、場所；佐賀大学本庄キャンパス、講師1名（坂口幸一）、参加者；28名

3. 研究成果の公開を目的とした学会誌、学術図書及びデータベース等の刊行（第3号事業）

3-1 会誌「表面科学」の内容

*「表面科学」Vol. 37 No. 4～Vol. 38 No. 3を発行（2016年4月～2017年3月）

*投稿規程の整備

*真空・表面科学合併誌に向けた検討

3-2 電子ジャーナル「e-Journal of Surface Science and Nano Technology」

*ジャーナルVol. 14を発行（2016年1月～12月）、総頁数；236頁、

通常論文；13編、ISSS-7；9編、ALC' 15；23編、AsiaNANO 2016；1編

3-3 出版

*現代表面科学シリーズ（全6巻）電子化

・学術出版の書籍（共立出版）をそのまま、以下の条件で電子化することで契約した。

・著者各位に対して報告し、著作物利用料を学会にいただくように打診した。

・共立出版での電子化が完了した。

著作物利用料	支払方法・時期
乙（共立出版）への売上げ入金額に対しその10%を著作物利用料とする	発行後6カ月を経た毎年12月末毎に売上げ入金額を確定して精算する。

その他 特記事項

乙は著作物利用料の全額を甲（日本表面科学会）へ支払い、他の著作権者には支払わない。

* 表面分析図鑑の新編纂、英語電子出版

新編纂出版として、英文でのWEB出版を進める。

- ・項目と執筆者を決定し、会長名で正式依頼状を発送した（8月上旬完了）。
- ・タイトルをCompendium of Surface and Interface Analysisと決定した。
- ・springer社から表面科学会への執筆謝礼金は、1200ユーロ、出版時一括払い。

* 新規の出版企画

- ・全体会議、メールなどで議論した（継続申し送り事項）
- ・朝倉書店と打ち合わせを行った（2/3）

3-4 バーチャル表面科学・ナノテクノロジー博物館の開設

- * 『表面科学の殿堂』、『身近な表面科学』で取り上げるべき項目の検討
- * ブルーバックスの掲載記事の活用の検討
- * 他の展示内容の検討

3-5 表面分析事例のデータベース公開

- * 公開可能な事例の収集・整理

4. 技術者の資格認定・付与（第4号事業）

4-1 認証事業

* 第12回表面科学技術者資格認定試験

2016年7月21日 14:00~15:20、東京大学山上会館大会議室、

申込数：32名、受験者数：30名、合格者数：24名

* 第13回表面科学技術者資格認定試験

2016年11月5日 14:00~15:20、島津製作所関西支社マルチホール、

申込者数：25名、受験者数：22名、合格者数：17名

* 第5回表面科学専門技術者資格認定試験

2016年9月17日、筆記試験 10:00~12:30 口頭試問 14:30~15:30、

東京大学山上会館001,002会議室、申込数：1名、受験者数：1名、合格者数：1名

* 第2回表面科学上級技術者資格認定試験

2016年9月17日、筆記試験 11:00~12:30 口頭試問 14:30~15:30、

東京大学山上会館001,002会議室、申込数：1名、受験者数：1名、合格者数：0名

5. その他目的を達成するために必要な事業（第5号事業）

5-1 産業連携

* 維持会員・賛助会員の増強策に関して検討を行った

* 会誌広告掲載の勧誘

* 関東支部主催の合同企画「実用顕微評価技術セミナー2016」を実施した

2016年6月17日、東京大学小柴ホール、企業展示数：15社16ブース、参加人数：143名

* 第36回表面科学学術講演会（2016年真空・表面科学合同講演会）

2016年11月29日~12月1日、名古屋国際会議場において企業展示会場および名刺交換会を支援した

参加展示企業：30社

5-2 広報

* 個人会員の増強促進のための施策（入会者と紹介者へ景品を進呈）

* 学会ウェブサイト管理およびコンテンツの充実

* 新設九州支部と連携し、九州支部ウェブサイトの整備

* ISSS-8ウェブサイト構築補助

5-3 調査研究

* 学会将来の短期的・長期的展望について検討

5-4 理事会で認められた事業

*各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業

5-5 各種委員会の開催

理事会	6回	2016年4.5.7.10.12月	2017年2月
学術講演会委員会	5回	2016年4.7.9.12月	2017年1月
企画委員会	3回	2016年6月	2017年1.3月
調査研究事業委員会	適宜、担当者間で連絡打合せ		
産業連携委員会	1回	2016年10月	
広報委員会	適宜電子メール会議		
会誌編集委員会	6回	2016年5.7.9.11月	2017年1.3月
出版委員会	1回	2016年6月	
学会賞等選定委員会	2回	2016年12月	2017年1月
論文賞等選定委員会	2回	2016年6.7月	
e-Journal 編集委員会	電子メール会議		
国際事業委員会	適宜電子メール会議		
認証事業委員会	4回	2016年7.9.11月	2017年2月 (その他WG6回)
関西支部役員会	4回	2016年4.7.11月	2017年1月
中部支部役員会	5回	2016年4.7.9.12月	2017年1月
関東支部役員会	6回	2016年6.7.10.11月	2017年1.2月
東北・北海道支部役員会	2回	2016年5月	2017年3月
九州支部	1回	2016年4月	適宜電子メール会議

事業報告 別紙1

H28年度 学会賞

橋詰 富博 (株式会社日立製作所)

受賞業績 「走査トンネル顕微鏡による表面における原子・分子構造の解明」

中村 潤児 (筑波大学)

受賞業績 「モデル固体触媒の活性サイトと反応メカニズムの研究」

H28年度 功績賞

高柳 邦夫 (東京工業大学)

長谷川哲也 (東京大学)

H28年度 論文賞

受賞者：藤田大介

所 属：国立研究開発法人物質・材料研究機構

論 文：Si 酸化超薄膜の超高真空高温場における還元分解/再析出過程 —NC-AFM/STM/AESによる in situ 解析—
「表面科学」 Vol. 36-9 459-464

H28年度 会誌賞

受賞者：内橋 隆, 吉澤俊介

所 属：国立研究開発法人物質・材料研究機構

論 文：シリコン表面超構造における超伝導輸送現象 「表面科学」 Vol. 36-3 112-117

H28年度 会誌賞

受賞者：江澤雅彦

所 属：東京大学大学院工学系研究科

論 文：表面科学としてのシリセンの面白さ：実験・理論の現状と今後の展望 「表面科学」 Vol. 35-8 449-456

H28年度 奨励賞

受賞者：松下祐福* (関口博史**, 一柳光平***, 池崎圭吾*, 後藤佑児****, 佐々木裕次* **)

所 属：*東京大学大学院新領域創成科学研究科, **高輝度光科学研究センター,

高エネルギー加速器研究機構, *大阪大学蛋白質研究所

論 文：酢酸ナトリウム過飽和溶液中における金ナノ結晶の分散状態とその高精度1分子回転動態観察
「表面科学」 Vol. 36-10 539-542

H28年度 技術賞

受賞者：針山孝彦*, 高久康春*, 鈴木浩司*, 石井大佑**, 下村政嗣***

所 属：*浜松医科大学, **名古屋工業大学, ***千歳科学技術大学

論 文：ナノスーツ法による生きたままの生物のSEM内生態観察 「表面科学」 Vol. 36-4 201-206

H28年度 産業賞

受賞社：株式会社日立ハイテクノロジーズ (賛助会員)

受賞対象：超高分解能電子顕微鏡(HF-3300)とガス雰囲気触媒表面観察

H28 年度 講演奨励賞 (若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門)

(若手研究者部門)

- 稲見栄一 (千葉大学大学院) 講演番号 3Ja03Y
「ナノクラスターを利用した室温スイッチ素子の創成」
柳瀬雄輝 (広島大学大学院) 講演番号 1Da03Y
「患者由来 IgE 抗体感作細胞の抗原刺激応答を利用したアレルギー診断法の開発」
今田 裕 (理化学研究所) 講演番号 3Dp07Y
「STM 発光分光法による分子間共鳴エネルギー移動の実空間計測」

(新進研究者部門)

- 黒田健太 (東京大学物性研究所) 講演番号 3Ka03R
「トポロジカル絶縁体におけるディラック表面状態の超高速ダイナミクス」
小野田穰 (東京大学大学院) 講演番号 1Dp07R
「原子間力顕微鏡による単一原子の電気陰性度の決定」
鈴木誠也 (豊田工業大学大学院) 講演番号 3Ca09R
「表面増強ラマン散乱用グラフェン/銀基板の作製」

(スチューデント部門)

- 白澤 樹 (静岡大学大学院) 講演番号 1Dp01S
「走査型イオン伝導顕微鏡イメージングにおける複数開口ナノピペットを用いた試料表面帯電の影響低減」
荒木健人 (大阪大学大学院) 講演番号 1Dp05S
「静電気力顕微鏡による有機太陽電池の時間分解電荷マッピング」
木村謙介 (東京大学大学院) 講演番号 1PB07S
「NaCl 絶縁体超薄膜上に吸着した PTCDA の単分子分光」
Kanishka De Silva (豊田工業大学大学院) 講演番号 1Fa06S
「Ascorbic acid assisted green reduction of graphene oxide」
越田裕之 (京都大学大学院) 講演番号 3Da10S
「Cu (111) 表面における NO の吸着構造：三量体の自発的形成」
遠藤由大 (東京大学大学院) 講演番号 3Kp10S
「SiC 結晶上 2 層グラフェンの輸送特性および Li インターカレートによる影響」
浅井泰尊 (名城大学大学院) 講演番号 2PA01S
「表面拡散を利用した単原子電子源の作製」
杉岡大輔 (名古屋大学大学院) 講演番号 1Ga08S
「イオン液体/金属スパッタ蒸着法を用いるコアシェル型 AuPt 合金ナノ粒子単層膜の作製と電極触媒活性評価」
柿澤 優 (山梨大学) 講演番号 1Ep09S
「発電中における固体高分子形燃料電池内ガス拡散層表面・内部の光学プローブを用いた酸素分圧測定」

平成 29 年度より栄誉会員 (名誉会員、功労会員)

- 名誉会員 ; 高柳 邦夫
功労会員 ; 越川 孝範、岡野 達雄

平成 29 年度 フェロー 認定 (1 名)

- 嘉数 誠 (佐賀大学)
受賞業績「ウルトラワイドギャップ半導体の電子デバイス応用に向けた表面・界面現象の解明」

平成 28 年度会員の動向

	2016.3.31 現在	入退会者数		2017.3.31 現在
		入会	退会	
1) 特別名誉会員	1 名	0	0	1 名
2) 名誉会員	23 名	1	0	24 名
3) 功労会員	52 名	3	0	55 名
4) 正会員	1311 名	101	86	1326 名
5) 学生会員	436 名	144	124	456 名
6) 維持会員	12 社	0	2	10 社
口数	12 口	0	2	10 口
7) 賛助会員	60 社	1	1	60 社
口数	64 口	1	1	64 口
8) 購読会員	40 社	1	2	39 社
口数	41 口	1	2	40 口
合(1+2+3+4+5)	1823 名	249	210	1862 名
計 (6+7+8)	112 社	2	5	109 社

入会：復活 6 名、正→名 1 名、正→功 3 名に変更を含む

入会・退会：学→正 14 名に変更を含む

平成28年度開催 他学協会共催一覧表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成28年 10/10-13	AsiaNANO 2016 -Asian Conference on Nanoscience & Nanotechnology-	AsiaNANO 2016 実行委員会
平成29年 3/8	ナノトライボロジー研究センター開設シンポジウム	電気通信大学

平成29年度開催 他学協会共催一覧表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成29年 12/3-8	11th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices ' 17 (ALC' 17)	日本学術振興会 マイクロビームアナリシス第141委員会

平成28年度開催 他学協会協賛等一覧表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成28年		
6/6	2016 電気化学セミナー2	電気化学会
6/22	ナノテク部会 第62回研究会	表面技術協会ナノテク部会
6/24	平成28年度第1回表面物性研究会	表面技術協会関西支部
6/29	日本材料科学会主催平成28年度学術講演大会	日本材料科学会
7/11	2016年7月研究例会	日本真空学会
7/11-13	第20回X線分析講習会 蛍光X線分析の実際(第9回)	日本分析化学会 X線分析研究懇談会
7/21-22	The Scientific International Symposium on SIMS and Related Techniques Based on Ion-Solid Interactions 18 (SISS18)	SISMS 新技術WG
7/25	腐食防食部門委員会 第311回例会	日本材料学会
8/22-23	第80回半導体・集積回路技術シンポジウム	電気化学会電子材料委員会
8/23-24	第77回熱測定講習会	日本熱測定学会
8/25	第6回講習会「X線反射率法による薄膜・多層膜の解析」	応用物理学会 埋もれた界面のX線・中性子解析研究会
8/28-31	第6回スピン偏極STM国際会議(SPSTM2016)	第6回スピン偏極STM国際会議実行委員会
8/29-30	SPRING-8 シンポジウム 2016	SPRING-8 ユーザー協同体 (SPRUC), 高輝度光科学研究センター, 理化学研究所, 関西学院大学
8/30-31	電気化学セミナー3「初心者のための電気化学測定法-実習編」	電気化学会
8/30-9/2	第56回(2016年度)真空夏季大学	日本真空学会
8/31-9/2	第10回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
9/3-5	第19回XAFS討論会	日本XAFS研究会 第19回XAFS討論会実行委員会
9/4-7	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEF 2016)	KJF-ICOMEF 2016 実行委員会
9/6-7	第32回分析電子顕微鏡討論会	日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会
9/7-9	VACUUM2016 真空展	日本真空工業会, 日本真空学会
9/8-9	第13回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会	日本材料学会
9/20	第94回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会(ARS)例会	表面技術協会 金属のアノード酸化皮膜の機能化部会(ARS)
9/20	第2回営業職・文系にも役立つ真空技術講座	日本真空学会
9/21	第2回(2016年度)真空技術演習講座	日本真空学会
9/28-30	第52回熱測定討論会	日本熱測定学会
10/3-6	4th Kanazawa Bio-AFM Workshop	4th Kanazawa Bio-AFM Workshop 実行委員会
10/12	平成28年度第2回表面物性研究会	表面技術協会関西支部
10/14	炭素材料学会10月セミナー	炭素材料学会
10/14	早稲田大学各務記念材料技術研究所オープンセミナー	早稲田大学各務記念材料技術研究所
10/19-21	Advanced Metallization Conference 2016: 26th Asian Session (ADMETA Plus 2016)	ADMETA 委員会
10/20-21	第7回分子アーキテクトゥクス研究会	日本化学会分子アーキテクトゥクス研究会
10/20-21	「π造形科学」第3回公開シンポジウム	新学術領域科学「π造形科学」
10/21-22	第9回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー	触媒学会 燃料電池関連触媒研究会

開催日	会 合 名	主催学会名
10-27/28	第 33 回金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS) 熱海コンファレンス 表面技術協会・金属のアノード酸化皮膜の機能化部会 (ARS)	
10-27/28	第 9 回トライボロジー入門西日本講座	トライボロジー学会
10/28-29	基礎講座「第 7 回表面化学チュートリアル」 触媒学会 界面分子変換の機構と制御研究会	
11/2	NIMS ナノシミュレーションワークショップ 2016 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点	
11/4	日本希土類学会第 34 回講演会	日本希土類学会
11/7	コロイド先端技術講座Ⅱ:5th E-Colloid 先端エレクトロニクスのためのコロイド・ 界面化学「先端エレクトロデバイスに効く!コロイド界面化学」 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	
11/7-10	1st Asian ICMC and CSSJ 50th Anniversary Conference	低温工学・超電導学会
11/8-9	第 16 回 放射線プロセスシンポジウム	放射線プロセスシンポジウム実行委員会
11/10-11	第 30 回日本吸着学会研究発表会	日本吸着学会
11/10-11	第 57 回秋期ゴム技術講習会	日本ゴム協会関東支部
11/14-15	第 3 回電池材料解析ワークショップ 先端的低炭素化技術開発 次世代蓄電池研究加速プロジェクト (ALCA-SPRING) 物質・材料研究機構 ナノ材料科学環境拠点 (GREEN)	
11/16	第 45 回 薄膜・表面物理 基礎講座 (2016)	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
11/16-18	第 30 回ダイヤモンドシンポジウム	ニューダイヤモンドフォーラム
11/19	IQCE 講演会「量子化学で探る化学の最先端 2016」	量子化学探索研究所
11/21-22	38th International Symposium on Dry Process (DPS2016)	応用物理学会
11/21-22	第 35 回固体・表面光化学討論会	固体・表面光化学討論会
12/1-2	膜シンポジウム 2016「膜の科学と技術～基礎から最先端まで」	日本膜学会
12/2	KAST 教育講座「塗る、刷る、printable!-進化するナノインクと先端デバイス技術」 コース 神奈川科学技術アカデミー	
12/2	表面科学の最先端と分子科学～第 7 回真空・表面科学若手研究会～	分子科学研究所
12/3-4	第 17 回「イオンビームによる表面・界面解析」特別研究会 応用物理学会 薄膜表面物理分科会	
12/5-6	第 8 回岩澤コンファレンス	岩澤コンファレンス
12/7-9	第 43 回炭素材料学会年会	炭素材料学会
12/8-9	日常的な分析業務における JIS 並びに ISO 規格の利用 -表面分析実用化セミナー'16-	表面分析研究会
12/9	平成 28 年度材料科学基礎講座「電子顕微鏡に関わる基礎と関連技術」 日本材料科学会	
12/9	電気化学会関東支部 2016 年電気化学会関東支部セミナー	電気化学会関東支部
12/14	日本真空学会 2016 年 12 月研究例会「真空中での原子層成長:ALD 技術の最近の進歩」 日本真空学会	
12/14-16	The 24th International Colloquium on Scanning Probe Microscopy (ICSPM24) 応用物理学会	
平成 29 年		
1/11-15	Symposium on Surface and Nano Science 2017 (SSNS'17) 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会	
1/19	「先端計測インフォマティクス 大量データ時代の情報活用」ワークショップ 物質・材料研究機構 情報統合型物質・材料研究拠点/先端材料解析研究拠点	
1/20	日本真空学会関西支部 第 9 回実用技術セミナー	日本真空学会関西支部
1/20	基礎セミナー「表面分析(II)～顕微鏡」	応用物理学会 東海支部
1/20	陽電子回折研究会	KEK 物構研 低速陽電子実験施設
1/20	炭素材料学会 1 月セミナー	炭素材料学会

開催日	会 合 名	主催学会名
1/20-21	第22回電子デバイス界面テクノロジー研究会 応用物理学会 薄膜・表面物理分科会, シリコンテクノロジー分科会	
1/23	腐食防食部門委員会 第314回例会	日本材料学会
1/23	第25回放射線利用総合シンポジウム 大阪ニュークリアサイエンス協会, 大阪府立大学地域連携研究機構	
1/25, 31	KAST 教育講座「難削材・微細加工技術の新しい流れ」コース 神奈川科学技術アカデミー	
1/27	16-2 高分子表面研究会 高分子学会 高分子表面研究会	
1/27-28	平成26~30年度 新学術領域研究「 π 造形科学：電子と構造のダイナミズム制御による新機能創出」第3回国際シンポジウム 新学術領域研究「 π 造形科学」	
2/13	2017年産業技術総合研究所中部センター研究講演会 産業技術総合研究所中部センター	
2/17	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム「第15回ナノテクノロジー総合シンポジウム」(JAPAN NANO 2017) 文部科学省ナノテクノロジープラットフォームセンター	
2/23	アドバンテックセミナー2017 日本ゴム協会関東支部	
2/23	平成28年度 KAST 教育講座「“紙一枚”で健康診断？ペーパーマイクロ分析チップの技術と可能性」コース 神奈川科学技術アカデミー	
2/24	第19回「トライボコーティングの現状と将来」シンポジウム トライボコーティング技術研究会, 理化学研究所 大森素形材工学研究室	
2/24	応用物理学会関西支部平成28年度第3回講演会 応用物理学会関西支部	
2/27-3/3	第30回コンピューショナル・マテリアルズ・デザイン (CMD(r)) ワークショップ 大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター, 大阪大学大学院理学研究科, 大阪大学大学院基礎工学研究科, 大阪大学大学院工学研究科, 他	
3/1-5	9th International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials / 10th International Conference on Plasma-Nano Technology & Science (ISPlasma2017/IC-PLANTS2017) 応用物理学会	
3/2	2017 International Conference on Artificial Photosynthesis (ICARP2017) 科研費新学術領域「人工光合成」総括班	
3/7	横浜国立大学-横浜市立大学「第12回ナノテク交流シンポジウム」 ナノリサーチクラブ (NRC)	
3/8-10	熱測定スプリングスクール2017 (第78回熱測定講習会) 日本熱測定学会	
3/14-15	IIP2017 情報・知能・精密機器部門 (IIP 部門) 講演会 日本機械学会	
3/14-15	2016年度量子ビームサイエンスフェスタ 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所, J-PARC センター, 総合科学研究機構 (CROSS), PF-UA, J-PARC/MLF 利用者懇談会	
3/21	日本材料学会 腐食防食部門委員会 第315回例会 日本材料学会	

平成29年度開催 他学協会協賛等一覧表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

開催日	会 合 名	主催学会名
平成29年		
4/3	日本真空学会関西支部 平成29年度 第1回講演会	日本真空学会関西支部
5/10-12	ナノ学会 第15回大会	ナノ学会
5/15	腐食防食部門委員会 第316回例会	日本材料学会
5/15-16	第33回希土類討論会	日本希土類学会
5/15-17	トライボロジー会議 2017 春 東京	日本トライボロジー学会
5/18	2017 電気化学セミナー2	電気化学会
5/22-24	第94回 2017年度春季 低温工学・超電導学会	低温工学・超電導学会
5/23-26	第53回 真空技術基礎講習会	大阪府立産業技術総合研究所
5/26-27	日本膜学会 第39回年会	日本膜学会
5/30-6/1	日本顕微鏡学会 第73回学術講演会	日本顕微鏡学会
6/9	第72回技術セミナー	腐食防食学会
6/23	2017年6月研究例会	日本真空学会
6/26-28	Ninth International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9)	応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会
6/28-30	第28回キャタリシススクー	触媒学会
6/30	第35回高分子表面研究会 基礎講座	高分子学会 高分子表面研究会
7/5-7	The 14th International Symposium on Sputtering and Plasma Processes (ISSP2017)	日本真空学会, AVS
7/6-7	第27回電子顕微鏡大学	日本顕微鏡学会
7/14-15	第14回Cat-CVD研究会	Cat-CVD研究会
7/21	第45回薄膜・表面物理セミナー (2017)	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
8/24-25	第81回半導体・集積回路技術シンポジウム	電気化学会電子材料委員会
10/18-20	Advanced Metallization Conference 2017: 27th Asian Session (ADMETA Plus 2017)	ADMETA委員会
10/26-27	第53回X線分析討論会	日本分析化学会 X線分析研究懇談会
10/28-30	国際シンポジウム「“Future Earth” エネルギー課題に資する新奇なナノ物質・触媒・表面」	電気通信大学
11/10	第20回ミレニアム・サイエンス・フォーラム	ミレニアム・サイエンス・フォーラム
11/16-17	第31回日本吸着学会研究発表会	日本吸着学会
11/20-23	Forefront of Molecular Dynamics at Surfaces and Interfaces: From a single molecule to catalytic reaction	東京大学
11/20-24	Plasma Conference 2017 (PLASMA2017)	応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会, プラズマ・核融合学会, 日本物理学会・領域2, 日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会

貸借対照表

平成29年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	35,646,727	34,851,321	795,406
未収会費	738,000	1,004,000	△ 266,000
未収金	314,500	378,900	△ 64,400
仮払金	384,063	353,996	30,067
流動資産合計	37,083,290	36,588,217	495,073
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2)特定資産			
周年記念事業引当預金	5,500,000	5,500,000	0
国際会議引当預金	8,500,000	8,500,000	0
若手育成基金引当預金	2,250,000	2,250,000	0
退職給付引当預金	705,000	645,000	60,000
関西支部周年事業引当預金	439,459	1,388,750	△ 949,291
ローラメダル表彰事業引当預金	13,393,504	1,078,500	12,315,004
特定資産合計	30,787,963	19,362,250	11,425,713
(3)その他固定資産			
什器備品	4	4	0
電話加入権	81,283	81,283	0
差入保証金	1,425,000	1,425,000	0
国際会議前払金	7,648,000	3,540,000	4,108,000
その他固定資産合計	9,154,287	5,046,287	4,108,000
固定資産合計	59,942,250	44,408,537	15,533,713
資産合計	97,025,540	80,996,754	16,028,786
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,426,425	387,693	1,038,732
前受金	12,538,000	12,910,000	△ 372,000
前受収益	245,000	240,000	5,000
仮受金	0	10,000	△ 10,000
預り金	73,729	69,039	4,690
流動負債合計	14,283,154	13,616,732	666,422
2.固定負債			
退職給付引当金	705,000	645,000	60,000
固定負債合計	705,000	645,000	60,000
負債合計	14,988,154	14,261,732	726,422
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	33,393,504	21,078,500	12,315,004
指定正味財産合計	33,393,504	21,078,500	12,315,004
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,393,504)	(1,078,500)	(12,315,004)
2.一般正味財産	48,643,882	45,656,522	2,987,360
(うち特定資産への充当額)	(16,689,459)	(17,638,750)	(△949,291)
正味財産合計	82,037,386	66,735,022	15,302,364
負債及び正味財産合計	97,025,540	80,996,754	16,028,786

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,012	5,000	12
基本財産受取利息	5,012	5,000	12
受取会費	17,984,000	17,974,000	10,000
正会員受取会費	12,852,000	12,644,000	208,000
学生会員受取会費	752,000	730,000	22,000
維持会員受取会費	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
賛助会員受取会費	2,560,000	2,560,000	0
購読会員受取会費	820,000	840,000	△ 20,000
事業収益	23,055,433	19,059,291	3,996,142
受取参加費	10,640,000	5,758,000	4,882,000
受取広告料	4,023,200	3,858,480	164,720
受取ブース出展料	4,665,800	4,363,800	302,000
受取投稿料	150,500	348,500	△ 198,000
受取別刷頒布代	1,918,000	1,819,000	99,000
受取会誌頒布代	1,058,450	1,049,900	8,550
受取出版物頒布代	191,200	314,700	△ 123,500
受取著作権料	156,122	217,681	△ 61,559
受取出版物印税	252,161	1,329,230	△ 1,077,069
受取補助金等	1,200,000	0	1,200,000
受取国庫補助金	1,200,000	0	1,200,000
受取寄付金	0	50,000	△ 50,000
受取寄付金	0	50,000	△ 50,000
雑収益	820,557	1,268,902	△ 448,345
名簿頒布収益	48,000	764,000	△ 716,000
受取利息	2,811	9,601	△ 6,790
雑収益	769,746	495,301	274,445
経常収益計	43,065,002	38,357,193	4,707,809
(2) 経常費用			
事業費	36,615,541	32,984,698	3,630,843
給料手当	4,716,540	5,855,940	△ 1,139,400
臨時雇賃金	506,400	478,785	27,615
福利厚生費	993,325	1,033,308	△ 39,983
退職金共済掛金	108,000	108,000	0
会議費	129,752	21,185	108,567
旅費交通費	3,471,440	2,761,751	709,689
通信運搬費	2,179,005	2,283,230	△ 104,225
消耗品費	619,828	738,262	△ 118,434
印刷製本費	9,674,812	9,030,489	644,323
光熱水料費	130,503	142,171	△ 11,668
リース料	177,730	345,180	△ 167,450
賃借料	1,893,946	2,254,666	△ 360,720
諸謝金	1,430,818	1,254,330	176,488
租税公課	812,000	473,900	338,100
負担金	373,196	36,296	336,900
助成金	215,000	0	215,000
委託費	2,372,813	1,648,392	724,421
会場費	2,918,199	2,363,744	554,455
支払手数料	235,268	186,595	48,673
雑費	3,656,966	1,968,474	1,688,492
管理費	3,462,101	3,460,241	1,860
役員報酬	155,275	134,645	20,630

給料手当	524,060	650,660	△ 126,600
臨時雇賃金	0	1,800	△ 1,800
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
退職金共済掛金	12,000	12,000	0
福利厚生費	110,369	114,812	△ 4,443
旅費交通費	60,696	55,719	4,977
支払報酬	364,752	376,732	△ 11,980
会議費	1,484,122	1,096,013	388,109
通信運搬費	36,667	50,929	△ 14,262
印刷製本費	6,336	14,082	△ 7,746
賃借料	210,438	250,518	△ 40,080
名簿刊行費	656	160,054	△ 159,398
消耗品費	8,816	48,793	△ 39,977
消耗什器備品費	0	87,980	△ 87,980
光熱水料費	14,500	15,797	△ 1,297
支払手数料	15,125	15,554	△ 429
リース料	3,489	11,353	△ 7,864
租税公課	800	800	0
雑費	28,000	0	28,000
雑損失	366,000	302,000	64,000
経常費用計	40,077,642	36,444,939	3,632,703
当期経常増減額	2,987,360	1,912,254	1,075,106
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,987,360	1,912,254	1,075,106
一般正味財産期首残高	45,656,522	43,744,268	1,912,254
一般正味財産期末残高	48,643,882	45,656,522	2,987,360
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	12,315,004	200,000	12,115,004
当期指定正味財産増減額	12,315,004	200,000	12,115,004
指定正味財産期首残高	21,078,500	20,878,500	200,000
指定正味財産期末残高	33,393,504	21,078,500	12,315,004
III 正味財産期末残高	82,037,386	66,735,022	15,302,364

正味財産増減計算書内訳表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	表面科学の普及・育成事業			
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	5,012	0		5,012
基本財産受取利息	5,012	0		5,012
受取会費	12,588,800	5,395,200		17,984,000
正会員受取会費	8,996,400	3,855,600		12,852,000
学生会員受取会費	526,400	225,600		752,000
維持会員受取会費	700,000	300,000		1,000,000
賛助会員受取会費	1,792,000	768,000		2,560,000
購読会員受取会費	574,000	246,000		820,000
事業収益	23,055,433	0		23,055,433
受取参加費	10,640,000	0		10,640,000
受取広告料	4,023,200	0		4,023,200
受取ブース出展料	4,665,800	0		4,665,800
受取投稿料	150,500	0		150,500
受取別刷頒布代	1,918,000	0		1,918,000
受取会誌頒布代	1,058,450	0		1,058,450
受取出版物頒布代	191,200	0		191,200
受取著作権料	156,122	0		156,122
受取出版物印税	252,161	0		252,161
受取補助金	1,200,000	0		1,200,000
受取国庫補助金	1,200,000	0		1,200,000
雑収益	692,207	128,350		820,557
名簿頒布収益	0	48,000		48,000
受取利息	61	2,750		2,811
雑収益	692,146	77,600		769,746
経常収益計	37,541,452	5,523,550		43,065,002
(2)経常費用				
事業費	36,615,541	0		36,615,541
給料手当	4,716,540	0		4,716,540
臨時雇賃金	506,400	0		506,400
福利厚生費	993,325	0		993,325
退職金共済掛金	108,000	0		108,000
会議費	129,752	0		129,752
旅費交通費	3,471,440	0		3,471,440
通信運搬費	2,179,005	0		2,179,005
消耗品費	619,828	0		619,828
印刷製本費	9,674,812	0		9,674,812
光熱水料費	130,503	0		130,503
リース料	177,730	0		177,730
賃借料	1,893,946	0		1,893,946
諸謝金	1,430,818	0		1,430,818
租税公課	812,000	0		812,000
負担金	373,196	0		373,196
助成金	215,000	0		215,000
委託費	2,372,813	0		2,372,813
会場費	2,918,199	0		2,918,199
支払手数料	235,268	0		235,268
雑費	3,656,966	0		3,656,966
管理費	0	3,462,101		3,462,101
役員報酬	0	155,275		155,275
給料手当	0	524,060		524,060
退職給付引当金繰入額	0	60,000		60,000
退職金共済掛金	0	12,000		12,000
福利厚生費	0	110,369		110,369
旅費交通費	0	60,696		60,696
支払報酬	0	364,752		364,752
会議費	0	1,484,122		1,484,122
通信運搬費	0	36,667		36,667
印刷製本費	0	6,336		6,336
賃借料	0	210,438		210,438

名簿刊行費	0	656	656
消耗品費	0	8,816	8,816
光熱水料費	0	14,500	14,500
支払手数料	0	15,125	15,125
リース料	0	3,489	3,489
租税公課	0	800	800
雑費	0	28,000	28,000
雑損失	0	366,000	366,000
経常費用計	36,615,541	3,462,101	40,077,642
当期経常増減額	925,911	2,061,449	2,987,360
2.経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	925,911	2,061,449	2,987,360
一般正味財産期首残高			45,656,522
一般正味財産期末残高			48,643,882
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	12,315,004	0	12,315,004
当期指定正味財産増減額	12,315,004	0	12,315,004
指定正味財産期首残高			21,078,500
指定正味財産期末残高			33,393,504
III 正味財産期末残高			82,037,386

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
周年記念事業引当預金	5,500,000	0	0	5,500,000
国際会議引当預金	8,500,000	0	0	8,500,000
若手育成基金引当預金	2,250,000	0	0	2,250,000
退職給付引当預金	645,000	60,000	0	705,000
関西支部周年事業引当預金	1,388,750	111,244	1,060,535	439,459
ローレル表彰事業引当預金	1,078,500	12,315,004	0	13,393,504
小 計	19,362,250	12,486,248	1,060,535	30,787,963
合 計	39,362,250	12,486,248	1,060,535	50,787,963

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	—	—
小 計	20,000,000	(20,000,000)	—	—
特定資産				
周年記念事業引当預金	5,500,000	—	(5,500,000)	—
国際会議引当預金	8,500,000	—	(8,500,000)	—
若手育成基金引当預金	2,250,000	—	(2,250,000)	—
退職給付引当預金	705,000	—	—	(705,000)
関西支部周年事業引当預金	439,459	—	(439,459)	—
ローレル表彰事業引当預金	13,393,504	(13,393,504)	—	—
小 計	30,787,963	(13,393,504)	(16,689,459)	(705,000)
合 計	50,787,963	(33,393,504)	(16,689,459)	(705,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	803,960	803,956	4
合 計	803,960	803,956	4

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国庫補助金	日本学術振興会	0	1,200,000	1,200,000	0	
合 計		0	1,200,000	1,200,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産	周年記念事業引当預金	5,500,000	0	0	5,500,000
	国際会議引当預金	8,500,000	0	0	8,500,000
	若手育成基金引当預金	2,250,000	0	0	2,250,000
	退職給付引当預金	645,000	60,000	0	705,000
	関西支部周年事業引当預金	1,388,750	111,244	1,060,535	439,459
	ローレル表彰事業引当預金	1,078,500	12,315,004	0	13,393,504
	特定資産計	19,362,250	12,486,248	1,060,535	30,787,963

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	645,000	60,000	0	0	705,000

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	95,891		
		本部		69,621		
		関西支部		1,137		
		九州支部		13,937		
		放射光研究部会		3,880		
		プローブ顕微鏡研究部会		2,314		
		電極表面研究部会		5,002		
		預金		郵便振替貯金	運転資金として	12,064,396
				本郷四局160-6-84613		7,096,566
				本郷局140-4-5161		4,000,944
				本郷局150-7-5390		923,352
				本郷四局00100-3-623379		43,534
				普通預金		運転資金として
	みずほ銀行本郷支店1055846		9,086,735			
	りそな銀行本郷支店1342251		108,896			
	三菱東京UFJ銀行本郷支店4654138		127,379			
	みずほ銀行本郷支店1469020		8,342,623			
	みずほ銀行本郷支店2720673	813,520				
	みずほ銀行本郷支店2720703	739,690				
	三菱東京UFJ銀行本郷支店0093378	5				
	みずほ銀行本郷支店2720711	751,331				
	みずほ銀行本郷支店2973407	2,163,343				
	みずほ銀行本郷支店2990271	393,694				
みずほ銀行本郷支店2794413	312,176					
みずほ銀行本郷支店2794421	147,669					
みずほ銀行本郷支店2794464	68,241					
みずほ銀行本郷支店2794448	63,900					
みずほ銀行本郷支店2794456	76,539					
みずほ銀行本郷支店2831815	190,699					
みずほ銀行本郷支店4032146	50,000					
みずほ銀行本郷支店4032154	50,000					
未収会費		H27.28年度会費161件	738,000			
未収金		別刷代金3口、広告料5口	314,500			
仮払金		第63回基礎費用、研究部会源泉税	384,063			
流動資産合計				37,083,290		
(固定資産) 基本財産	預金	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益事業の財源として使用している	20,000,000		
		りそな銀行本郷支店		10,000,000		
		三菱東京UFJ銀行本郷支店		10,000,000		
		特定資産		周年記念事業引当預金	定期預金/みずほ銀行本郷支店	5,500,000
		国際会議引当預金		定期預金/みずほ銀行本郷支店	国際会議事業の積立資産であり、国際会議事業の準備資金として管理されている預金	8,500,000
		若手育成基金引当預金		定期預金/みずほ銀行本郷支店	若手育成事業の積立資産であり、若手育成事業の準備資金として管理されている預金	2,250,000
		退職給付引当預金		定期預金/みずほ銀行本郷支店	退職給付の積立資産であり、退職給付の準備資金として管理されている預金	705,000
		関西支部周年事業引当預金		普通預金/みずほ銀行本郷支店	周年事業の積立資産であり、周年事業の準備資金として管理されている預金	439,459
		ロータリウム表彰引当預金		普通預金/みずほ銀行本郷支店	ロータリウム表彰の積立資産であり、表彰の準備資金として管理されている預金	13,393,504
		その他固定資産		什器備品		事務局ITコン、その他
電話加入権			電話架設費	81,283		
差入保証金			事務所借上敷金	1,425,000		
国際会議前払金			ISSS-8会議(2017年開催)準備金	7,648,000		
固定資産合計				59,942,250		
資産合計				97,025,540		
(流動負債)	未払金 前受収益 前受金 預り金		会誌印刷費用、消費税	1,426,425		
			会誌広告	245,000		
			H29年度会費1,07911、H30年度会費3口、H31年度会費111	12,538,000		
			源泉所得税他	73,729		
流動負債合計				14,283,154		
(固定負債)	退職給付引当金		従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	705,000		
固定負債合計				705,000		
負債合計				14,988,154		
正味財産				82,037,386		

監 査 報 告 書

平成 29 年 4 月 13 日

公益社団法人日本表面科学会

会長 荻野 俊郎 殿

公益社団法人日本表面科学会

監 事 尾 嶋 正 治 

監 事 田 澤 豊 彦 

監 事 染 野 光 宏 

私たち監事は、公益社団法人日本表面科学会（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を徴収し、関係書類など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

この写は原本と相違ないことを証明する。

平成 29 年 4 月 15 日

会長 荻野 俊郎



栄誉会員の推挙

名誉会員

高柳 邦夫（東京工業大学）

功労会員

越川 孝範（大阪電気通信大学）

岡野 達雄（放送大学）

公益社団法人日本表面科学会

平成 29 年度理事および監事の選任

*新任理事・監事

- 【理 事】 *赤木 和人（東北大学原子分子材料科学高等研究機構）
板倉 明子（物質・材料研究機構）
*大岩 烈（シエント オミクロン）
太田 英二（慶応義塾大学理工学部）
*木口 学（東京工業大学大学院 理工学研究科）
*倉林 徹（秋田大学大学院工学資源学研究科）
*河野禎市郎（旭化成）
粉川 良平（島津製作所）
*重川 秀実（筑波大学物理工学系）
大門 寛（奈良先端科学技術大学院大学）
玉田 薫（九州大学先導物質化学研究所）
富取 正彦（北陸先端科学技術大学院大学）
中嶋 健（東京工業大学物質理工学院）
長谷川修司（東京大学大学院理学系研究科）
福井 賢一（大阪大学大学院基礎工学研究科）
*藤田 大介（物質・材料研究機構）
堀尾 吉巳（大同大学工学部）
松本 卓也（大阪大学大学院理学系研究科）
*吉信 淳（東京大学物性研究所）
*渡邊 聡（東京大学大学院工学系研究科）
- 【監 事】 *荻野 俊郎（横浜国立大学大学院工学研究院）
田澤 豊彦（日本電子）
染野 光宏（公認会計士）

合併契約書

公益社団法人日本表面科学会（以下「甲」という。）と、一般社団法人日本真空学会（以下「乙」という。）とは、合併に関し、次のとおり契約を締結する。

(合併の形式)

第1条 甲及び乙は、甲を吸収合併存続法人、乙を吸収合併消滅法人として合併する。

2 吸収合併存続法人及び吸収合併消滅法人の名称及び住所は、次のとおりである。

(1) 吸収合併存続法人

名称 公益社団法人日本表面科学会

住所 東京都文京区本郷二丁目40番13号

(2) 吸収合併消滅法人

名称 一般社団法人日本真空学会

住所 東京都港区芝公園三丁目5番8号

3 本合併後の吸収合併存続法人の名称及び住所は以下のとおりとする。

名称 公益社団法人日本表面真空学会

住所 協議の上、決定

(効力発生日)

第2条 合併の効力発生日は、平成30年4月1日とする。ただし、合併手続の進行に応じ必要があるときは、甲及び乙が協議の上、これを変更することができる。

(合併承認)

第3条 甲及び乙は本契約につき承認を得るため、平成29年6月30日までに、それぞれ社員総会の承認を得るものとする。

(法人財産の引継ぎ)

第4条 乙は、平成30年3月31日現在の貸借対照表、財産目録その他同日現在の計算を基礎とし、これに効力発生日の前日までの増減を加除した一切の資産、負債及び権利義務を効力発生日に甲に引き継ぎ、甲はこれを承継するものとする。

(善管注意義務)

第5条 甲及び乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれ業務の執行及び財産の管理運営を行い、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲及び乙が協議の上これを行う。

(職員の処遇)

第6条 甲は、効力発生日において、乙の職員を甲の職員として引き継ぐものとする。ただし、勤務年数については、乙における年数を通算する。

(合併条件の変更等)

第7条 本契約締結の日から効力発生日に至るまでの間において、天災地変その他の事由により、甲又は乙の財産若しくは事業運営に重大な変動を生じたときは、甲及び乙が協議の上、合併条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

(本契約に定めのない事項)

第8条 本契約に定める事項のほか、合併に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い甲及び乙が協議の上、これを決定する。

本契約の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各1通を保有する。

平成29年5月4日

甲 東京都文京区本郷二丁目40番13号
公益社団法人日本表面科学会

代表理事（会長）

荻野俊郎



乙 東京都港区芝公園三丁目5番8号
一般社団法人日本真空学会

代表理事（会長）

齊藤芳男



合併に関する覚書

公益社団法人日本表面科学会（以下「甲」という。）と一般社団法人日本真空学会（以下「乙」という。）は、それぞれの強みを相補的に生かしながら連携を深めることによって、学術的にも国際的にも存在感を増して当該分野を牽引し、さらに産業界との連携強化を図って日本の科学技術産業の発展に資することを目的として、合併契約書を締結し社員総会で承認のうえ合併を行う。合併契約書承認後、合併作業を遂行するために、次のとおり覚書を取り交わすものとする。

（合併の基本方針）

第1条 甲を吸収合併存続法人、乙を吸収合併消滅法人として合併する。合併の基本方針は以下のとおりである。

- ① 両学会は対等な精神をもって合併する。
- ② 両学会の各事業は基本的にそのまま継続することを保証する。
- ③ 合併によって会員や事務局員などすべての人に不利益が出ないようにする。
- ④ 事業継承の観点から、当初は独立した事業として運営せざるを得ない事業に関しては、分野別の運営協議会において企画、運営を掌握する。

2 甲及び乙の名称及び住所は、次のとおりである。

（1）甲

名称 公益社団法人日本表面科学会
住所 東京都文京区本郷二丁目40番13号

（2）乙

名称 一般社団法人日本真空学会
住所 東京都港区芝公園三丁目5番8号

（合併の手順）

第2条 合併の最終的な内容及び条件の詳細を定める法的拘束力のある合併契約書の締結を行い、甲及び乙のそれぞれの社員総会での承認を得た後、合併の効力発生日までに内閣府の承認および登記を行う。

（情報の開示）

第3条 甲及び乙は、合併のために財務諸表等の必要な情報を相互に開示するものとする。

2 開示された情報は、漏えいに十分注意するとともに、合併以外の目的に使用してはならない。

（合併作業委員会）

第4条 甲及び乙は、合併契約書締結・承認後、各学会長を共同委員長とする合併作業委員会、及び、それぞれの検討項目に対して当該各学会長が各々指名する担当者により組織される分

科会において、合併作業を進め、合併効力発生日までに円滑な合併を実現する。

(法人財産の引継ぎ)

第5条 合併の効力発生日に甲は乙のすべての財産を引き継ぐものとする。

(善管注意義務)

第6条 甲及び乙は、本覚書および合併契約書締結後、合併の効力発生日に至るまで、善良なる管理者の注意をもってそれぞれ業務の執行及び財産の管理運営を行い、その財産及び権利義務に重要な影響を及ぼす行為を行う場合には、あらかじめ甲及び乙が協議の上これを行う。

(職員の処遇)

第7条 甲は、合併の効力発生日において、乙の職員を引き継ぐものとする。ただし、勤務年数については、乙における年数を通算する。

(合併条件の変更等)

第8条 本覚書および合併契約書締結の日から合併の効力発生日に至るまでの間において、天災地変、その他の事由により、甲又は乙の財産若しくは事業運営に重大な変動を生じたときは、甲及び乙が協議の上、合併条件を変更し、又は本合併覚書を解除することができる。合併契約書の解除は社員総会での承認を必要とする。

(本覚書に定めのない事項)

第9条 本覚書に定める事項のほか、合併に関し必要な事項は、本覚書の趣旨ならびに甲と乙の合同合併検討委員会からの報告に従い甲及び乙が協議の上、これを決定する。

本覚書の成立を証するため、本書2通を作成し、甲及び乙が記名押印の上、各1通を保有する。

平成29年5月4日

甲 東京都文京区本郷二丁目40番13号
公益社団法人日本表面科学会

代表理事（会長）

荻野俊郎 

乙 東京都港区芝公園三丁目5番8号
一般社団法人日本真空学会

代表理事（会長）

齋藤芽男 

1. 研究成果の検討・交流を目的とした学術講演会、研究会等の開催 (第1号事業)

1-1 通常総会

2017年5月20日、場所；東京理科大学1号館17階

*特別講演会 「ネオジム磁石—過去、現在、未来」佐川真人先生 (大同特殊鋼顧問)

*栄誉会員 (名誉会員・功労会員) の推薦

*学会賞、功績賞の表彰

*フェロー 認定

*講演奨励賞 (若手研究者部門、新進研究者部門、スチューデント部門) の表彰

1-2 第37回表面科学学術講演会 (2017年真空・表面科学合同講演会)

2017年8月17日～19日、横浜市立大学金沢八景キャンパス

*特別講演・招待講演・シンポジウム講演・研究部会セッション講演・一般講演 (口頭およびポスター)

*受賞記念講演 (学会賞・論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞) および産業賞の展示

*講演奨励賞 (若手研究者部門・新進研究者部門・スチューデント部門) の選考

*論文賞・会誌賞・奨励賞・技術賞・産業賞の表彰

*登録システム業務契約

1-3 研究会

*第90回表面科学研究会 (平成29年度中部表面科学シンポジウム) 「主題 (未定)」

2018年1月頃、場所；未定

*第91回表面科学研究会 (日本真空学会と合同研究会) 「主題 (未定)」

2018年1月頃、場所；未定

(関西支部主催)

*第26回支部総会・特別講演会

2017年4月13日、場所；大阪府立大学 I-site なんば

*関西合同セミナー2017 (日本真空学会関西支部と合同開催) 「水素の挙動と物質科学—最近の展開—」

2017年7月6日、場所；大阪大学中之島センター (予定)

*実用表面分析セミナー2017 (未定)

*表面科学技術研究会2017 (未定)

*関西支部セミナー2018 (未定)

(中部支部主催)

*支部総会・講演会 (平成28年度)

2017年4月22日、場所；名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、講演件数；3件、参加人数；30名程度 (予定)

*中部支部研究会「主題 (未定)」

2017年11月、場所；未定、講演件数；4件、参加人数；20名程度 (予定)

*第17回中部支部学術講演会「若手講演会」

2017年12月、場所；未定、招待講演；1件、一般講演；20件程度、参加人数；45名程度 (予定)

(講演奨励賞を設置し、学部・修士、博士・ポスドクから数名を表彰予定)

*平成29年度中部表面科学シンポジウム (表面科学研究会) 「主題 (未定)」

2018年1月、場所；未定、講演件数；4件、参加人数；50名程度 (予定)

(関東支部主催)

*関東支部総会・第1回関東支部講演大会

2017年4月8日、東京大学山上会館

*第7回関東支部セミナー「主題 (未定)」

2017年5月 (予定)

*実用顕微評価技術セミナー2017 (本部産学連携委員会と共催)

2017年6月16日、東京大学小柴ホール

*第8回関東支部セミナー「主題 (未定)」

2017年11月 (予定)

*第9回関東支部セミナー「主題(未定)」

2018年2月(予定)

(東北・北海道支部主催)

*東北・北海道支部総会(平成29年)

2017年4月10日、場所;札幌・仙台・秋田

*表面セミナー(岩手表面技術談話会・東北地区若手研究者研究発表会 其他)

2017年12月

*東北・北海道支部講演会

2018年3月頃、場所;室蘭

(九州支部主催)

*九州支部設立総会・特別講演会

2017年4月8日、九州工業大学サテライト福岡天神キャンパス、特別講演会講師;未定、出席者30名程度

*九州表面・真空研究会2017(日本真空学会関西支部との合同開催)

2017年6月24日、場所;佐賀大学本庄キャンパス、参加者70名程度

特別講演;森田清三先生、招待講演;組頭広志先生

*九州支部セミナー(動画配信含む)「主題(未定)」

日程;未定、場所;未定

1-4 国際事業

*表面科学に関する国際シンポジウム(ISSS-8)実施

2017年10月22日~26日、つくば国際会議場

*第2回ローラーメダル(Grand Medal, Rising Medal)表彰・招待講演(ISSS-8開催中)

*第2回国際フェロー 表彰(ISSS-8開催中)

*ISSS 国際諮問委員会開催(ISSS-8開催中)

*6学会国際シンポジウム(6th International Joint Symposium(InJoSy-5), TVS, KVS, VSJ, SSSJ, AVS, CVS) (現在未定)

*第22回真空国際会議(IVC-22, 2022年)招致活動により札幌で開催決定(日本真空学会との協力)

*PacSurf2018(2018年12月、ハワイ)への若手招待講演者推薦(日本真空学会と合同で実施)

*海外在住会員向け情報誌の発行

1-5 研究部会

(ソフトナノテクノロジー研究部会)

*ソフトナノテクノロジー部会主催セミナー(詳細未定)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション(詳細未定)

*ISSS-8への協力:バイオ関連セッション

2017年10月22日~26日、場所;つくば国際会議場

(電極表面科学研究部会)

*国際シンポジウム「Electrified interface for Energy Conversion」

2017年5月頃、場所;未定

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション(詳細未定)

(触媒表面科学研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション

依頼講演4件、一般講演5件程度

*触媒表面ワークショップ開催(詳細未定)

*触媒学会触媒学会界面分子変換研究会との連携強化

*部会員数増強

(放射光表面科学研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション

*顕微ナノ材料研究会合同シンポジウム

*「表面科学会特集号」などの企画、会員増強、放射光の表面研究への応用推進

(表面分析研究部会)

*研究会「表面分析の将来を考える(仮題)」

2018年3月、場所；東京

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション「表面科学と表面分析—過去・現在・未来—（仮題）」

(摩擦の科学研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション

*研究部会主催の研究会の実施予定

1. 摩擦にかかわるトピックス

2. UEC International Nanotribology Colloquium

*ナノトライボロジー研究センターで国内・国際会議企画予定

*ヨーロッパのナノトライボネットワーク（COST）との共同企画

(データ駆動表面科学研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション

*研究会またはセミナーの開催（詳細未定）

(プローブ顕微鏡研究部会)

*第37回表面科学学術講演会 部会セッション

*プローブ顕微鏡ワークショップの開催

*「表面科学会特集号」などの企画、研究部会会員増強

2. 教育・育成を目的とした講習会、セミナー等の開催（第2号事業）

2-1 基礎講座

*第63回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

2017年6月27日～29日、場所；東京理科大学神楽坂キャンパス

*第64回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」

2017年10月頃、場所；大阪大学基礎工シホールセミナー室

*第8回社会人のための表面科学ベーシック講座

2017年9月頃、場所；未定

2-2 セミナー

*実用顕微評価技術セミナー2017（産業連携委員会・関東支部との合同企画）

2017年6月16日、場所；東京大学小柴ホール

*表面科学セミナー2018「主題（未定）」（薄膜基礎講座に替えて実施）

2018年2月頃、場所；未定

2-3 市民講座

*中部支部市民講座「講演内容；未定」

2017年7月、場所；未定、講演件数；4件、参加人数；50名程度（予定）

*第19回関西支部市民講座「講演内容；未定」

2017年8月5日、場所；未定

*関東支部市民講座「主題（未定）」

2017年8月（予定）

*東北・北海道支部市民講座(2017年)「講演内容；未定」

2017年11月頃、場所；未定

*九州支部市民講座「講演内容；未定」

日程；未定、場所；佐賀県立九州シンクロトンセンター

3. 研究成果の公開を目的とした学会誌、学術図書及びデータベース等の刊行（第3号事業）

3-1 会誌「表面科学」

*会誌「表面科学」の刊行 年間12号

*合併誌（2018年1月創刊予定）の準備作業

*合併誌に向けた投稿規程の整備

*合併誌に向けた会誌コンテンツの検討

*合併誌に向けた編集体制の準備

3-2 電子ジャーナル「e-Journal of Surface Science and Nanotechnology」

- * 通常論文の公開出版
- * 各種国際シンポジウム会議録の刊行 (ISSS-8 他)
- * 国際的な水準を満たす出版ガイドラインの策定 (継続課題)
- * 日本真空学会との合併後を念頭においた体制強化および企画立案
- * 科研費 (国際情報発信力強化) 申請

3-3 出版

- * 「表面分析図鑑」の新編集、英文版の電子出版を行う
初稿の査読校正終了; 2017年3月、出版予定; 2017年8月
- * 新しい出版企画を立案する

3-4 バーチャル表面科学・ナノテクノロジー博物館の開設

- * 『表面科学の殿堂』、『身近な表面科学』の予定項目の順次公開
- * 他の各展示内容の拡充

3-5 表面分析事例のデータベース公開

- * 公開可能な事例の収集・整理

4. 技術者の資格認定・付与 (第4号事業)

4-1 認証事業

- * 第14回表面科学技術者資格認定試験 (東京会場)
2017年7月20日、場所; 東京大学
- * 第15回表面科学技術者資格認定試験 (大阪会場)
2017年11月11日、場所; 島津製作所関西支社マルチホール
- * 第6回表面科学専門技術者資格認定試験
2017年9月16日、場所; 東京大学山上会館
- * 第3回表面科学上級技術者資格認定試験
2017年9月16日、場所; 東京大学山上会館

5. その他目的を達成するために必要な事業 (第5号事業)

5-1 産業連携

- * 維持会員・賛助会員の増強策に関して検討
- * 会誌広告掲載の勧誘
- * 本学会に関係する企業が参画する学術講演会、研究会等における企業展示会等を支援する
 - ・ 第37回表面科学学術講演会 (2017年真空・表面科学合同講演会)
2017年8月17日~19日、横浜市立大学金沢八景キャンパス (企業展示会場において名刺交換会の実施)
 - ・ (関西支部主催) 実用表面分析セミナー2017 (詳細未定)
 - ・ (関東支部主催) 実用顕微評価技術セミナー2017
2017年6月16日、東京大学小柴ホール
 - ・ 表面科学に関する国際シンポジウム (ISSS-8)
2017年10月22日~26日、つくば国際国際会議場 (ISSS-8 Exhibition と合同での企業展示の協力)

5-2 広報

- * 個人会員の増強促進のための施策 (入会者と紹介者へ景品を進呈)
- * 学会ウェブサイト管理およびコンテンツの充実

5-3 理事会で認められた事業

- * 各種委員会等での検討をもとに理事会で承認した事業

	H29年度予算		
	公益目的事業会計	法人会計	総合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,000	0	5,000
受取利息	5,000	0	5,000
受取会費	12,366,200	5,299,800	17,666,000
正会員	8,789,200	3,766,800	12,556,000
学生会員	511,000	219,000	730,000
維持会員	700,000	300,000	1,000,000
賛助会員	1,764,000	756,000	2,520,000
購読会員	602,000	258,000	860,000
事業収益	43,070,000	0	43,070,000
受取参加費	27,460,000	0	27,460,000
受取広告料	3,560,000	0	3,560,000
受取ブース出展料	8,200,000	0	8,200,000
受取投稿料	200,000	0	200,000
受取別刷頒布代	2,000,000	0	2,000,000
受取会誌頒布代	900,000	0	900,000
受取出版物頒布	350,000	0	350,000
受取著作権料	150,000	0	150,000
受取出版物印税	250,000	0	250,000
受取補助金等	8,810,000	0	8,810,000
受取寄付金振替額	1,300,000	0	1,300,000
雑収益	2,200,000	2,500	2,202,500
受取利息	0	2,500	2,500
その他収益	2,200,000	0	2,200,000
経常収益計	67,751,200	5,302,300	73,053,500
(2) 経常費用			
事業費	66,651,318	0	66,651,318
給料手当	10,959,500	0	10,959,500
臨時雇賃金	1,115,000	0	1,115,000
福利厚生費	1,080,000	0	1,080,000
退職共済掛金	108,000	0	108,000
会議費	280,000	0	280,000
旅費交通費	3,470,000	0	3,470,000
通信運搬費	3,290,400	0	3,290,400
消耗品費	1,544,000	0	1,544,000
印刷製本費	10,226,500	0	10,226,500
諸謝金	3,612,562	0	3,612,562
租税公課	1,350,000	0	1,350,000
光熱水料費	135,000	0	135,000
支払負担金	512,000	0	512,000
委託費	9,580,000	0	9,580,000
雑費	8,448,496	0	8,448,496
会場費	6,164,000	0	6,164,000
賃借料	4,342,000	0	4,342,000
支払手数料	149,860	0	149,860
リース料	284,000	0	284,000
管理費	0	3,623,100	3,623,100
役員報酬	0	200,000	200,000
給料手当	0	437,500	437,500
臨時雇賃金	0	5,000	5,000
退職引当繰入額	0	60,000	60,000
福利厚生費	0	120,000	120,000
退職共済掛金	0	12,000	12,000
会議費	0	1,200,000	1,200,000
会議費2	0	300,000	300,000
旅費交通費	0	50,000	50,000
通信運搬費	0	46,600	46,600
消耗品費	0	17,500	17,500
印刷製本費	0	17,500	17,500
光熱水料費	0	15,000	15,000
リース料	0	3,000	3,000

H29年度正味財産増減予算書(2017年4月1日～2018年3月31日)

賃借料	0	175,000	175,000
租税公課	0	1,000	1,000
支払手数料	0	13,000	13,000
支払報酬	0	400,000	400,000
雑費	0	350,000	350,000
雑損失	0	200,000	200,000
経常費用計	66,651,318	3,623,100	70,274,418
当期経常増減額	1,099,882	1,679,200	2,779,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,099,882	1,679,200	2,779,082
一般正味財産期首残高			48,066,535
一般正味財産期末残高			50,845,617
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			△ 1,300,000
指定正味財産期首残高			21,780,950
指定正味財産期末残高			20,480,950
III 正味財産期末残高			71,326,567